

大学院文学研究科中国語中国文学コース

【目標】

高い中国語（日本語）の運用能力
中国の文化・社会・歴史に対する深い理解
→良質で高度な学識を持つ専門家の育成

【方針】

語文双修、古今兼学（言語学から文学・文化まで、古代から現在まで）
→深い専門、広い学識

【求められること】

日本人学生……日本語はもちろん中国語による学術報告、ならびに論文の執筆が求められます。
外国人学生……中国語はもちろん日本語による学術報告、ならびに論文の執筆が求められます。
（英語圏での発表・執筆は英語になります）
→研究の国際化に対応できる人材

国内外の中国語中国文学専攻卒業（修士受験生）もしくは修士修了（博士受験生）の学識が必要です。
日本で中国語中国文学を学ぶことの意味をお考えください。

【指導教員】

- 岡崎由美（近世文学）
- 高屋亜希（中国近現代文学・文化）
- 内藤正子（文法学）
- 楊達（中国語教育）
- 松原朗（古典文学）〈客員教授〉
- 千野拓政（近現代文学・文化研究）

【設置科目】

研究指導、演習、研究、講義（それぞれ文学と語学に分かれています）および外国語

【参加する活動】

学会活動（早稲田大学中国文学会）
学術イベントへの協力（シンポジウム、講演会、学生交流、その他）
コースの行事、合宿（ワークショップ、学習班、発表の指導）
学部学生の指導補助（TA、自学自習TA、高度TA、合宿など）
年に数度の学術報告・論文執筆（早稲田大学中国文学会大会・国内外の学会など）

国際的な学術活動への参加（海外の大学との青年論壇、ワークショップなど）

（博士学位申請論文は、全国学会での発表、全国誌への論文掲載、事前の構想発表が求められます）

【関連諸制度】

科目等履修生、学士入学

（条件・準備が不足している方は、まず準備を整えることをお考えください）

【過去問】

ウェブ上に公開されています。

コース保存分は大学においていただければご覧いただけます。

来校については、中国語中国文学コースにご連絡ください。